

世田谷区長 保坂展人様

緊急申し入れ書

2011年4月24日の区長選で、厳しい選挙戦に勝利し、保坂展人新世田谷区長が誕生しました。2期8年にわたった熊本区政の暗闇を抜け、新しい希望を見出した、と区長実現のために力を尽くした支持者たちは誰もが思いました。

しかしながら、新区長出発に当たって、大きな暗雲がこれをさえぎろうとしています。

京王線連立事業の都市計画案の説明会が新区長就任以前から役人によって用意され、これまでの手法通りに、これが強行されようとしているからです。

区長選で保坂新区長は、都市計画や街づくり問題に触れ、政策立案過程の情報開示の重要性や熊本区政や従来の行政による「聞き置く行政」から、真の参加型区政への転換やその手法としての車座集会や円卓会議を訴え、当選しました。

これまでの都市計画手続きにおける説明会のインチキさを放置したまま、保坂展人新区長がその主催者として京王線連立事業の説明会が開かれることになるのみならず、熊本区長がおこなった都市計画案の公告・縦覧手続きを事業計画について高架での計画について反対の意向を表明している新区長が、その名でもって、再度おこなうことになるのは耐え難いことであるし、あってはならないことです。

新区長の就任以前に準備されたからといって、事務引継ぎや新体制の確立もなされぬままに、このようなことがなされることについては拒否・撤回をされ、「聞き置く行政」を断絶していただくことを求めるものです。

3月11日の東日本大震災により、東北新幹線の高架橋の橋げたは崩壊しました。旧来基準で設計され南側に側道さえ取ろうとしない京王線連立事業の都市計画は危険極まりなく、即刻、見直されなければなりません。

少なくとも、東北新幹線の橋げたの崩壊の検証・検討なしに、震災以前の京王線の都市計画案をそのまま提案することに加担することは、震災から目をそむけることにもなり、新区長の出馬の動機さえ否定することになりかねません。

真摯な対応を求めるものです。

2011年4月30日

「無党派市民」世田谷区議会議員 木下泰之